

現状の課題

- 自らの学びを調整し、見通しをもって学習に取り組む主体的な態度の育成
- 英語による発信力の強化

具体の取組の内容

- 「中央台版CAN-DOリスト」に基づく、小学校段階からの学習を生かした指導。
- 各単元のCAN-DOリストの作成と活用。
- 見方・考え方を働かせた表現力、即興的な応答力を伸ばす言語活動。
- ICTによる視覚的なアプローチや学習状況の把握。
- 週1回の英語部会を通じた実践共有。



小中英語パートナーシップ事業及び英語指導力向上事業授業公開の様子

成果①

- CAN-DOリストの習慣化が進み、生徒の主体的な取り組みが見られた。
- 各学年の実態に応じて、帯活動を中心として語彙力や即興性を育てる活動に継続して取り組み、英語でのコミュニケーションに対する前向きな態度が育っている。
- グループ学習を通して、生徒が楽しさや安心感をもって、授業に取り組むことができている。(授業アンケートより)

成果②

- GIGA端末の活用が進み、様々な学習用コンテンツを授業に取り入れることで指導の幅が広がった。
- 英語部会での話し合いや実践共有を通して、本事業に英語科一丸となって取り組むことができた。

今後の課題・方向性

- 「中央台版CAN-DOリスト」を実用化する。
- CAN-DOリストの実践研究を進め、「CAN-DOリストからのTO-DOリスト」によって生徒の主体性を育む。
- 授業での学びを補強し、自立した学習態度を育むために、家庭学習への取り組みを強化したい。